

佐倉市議会だより



2020年5月1日
(令和2年)

発行・佐倉市議会 編集・広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL043-484-6254 FAX043-486-2508
佐倉市ホームページ <http://www.city.sakura.lg.jp> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



2月定例会

会期 2月25日～3月24日

令和2年度 一般会計予算

過去最大となる514億6800万円を可決

災害復旧を最優先するとともに、

本格化する少子高齢化対策経費を重点的に計上



公立保育園で使用済みおもむつの回収・処分を開始



西御門 仮復旧中の明神橋付近の道路(6-108号線)

佐倉市議会は、2月25日から3月24日までの29日間にわたり、令和2年2月定例会を開催しました。

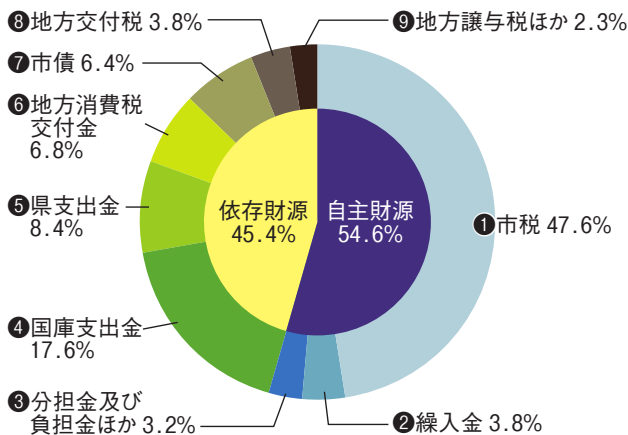
今定例会では、市長から「令和2年度佐倉市一般会計補正予算」や「令和元年度佐倉市一般会計補正予算」など議案31件と諮問1件が提出され、審議の結果、可決・同意しました。

請願・陳情については、「東邦佐倉病院の送迎バス運行廃止予定」を放置せず、市としての公的立場の対処を求める請願」など3件が、議員提出議案については、「佐倉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」など12件が提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に14人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

一般会計 514億6,800万円の内訳

歳入



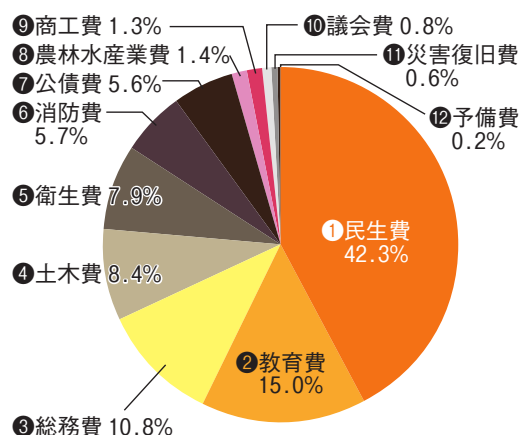
【歳入】

①市税	245億2,321万6千円
②線入金	19億4,413万1千円
③分担金及び負担金ほか	16億5,962万9千円

【歳出】

④国庫支出金	90億4,994万8千円
⑤県支出金	43億 547万7千円
⑥地方消費税交付金	35億 200万円
⑦市債	32億9,560万円
⑧地方交付税	19億8,000万円
⑨地方譲与税ほか	12億 800万円

歳出



【歳出】

①民生費	217億4,706万3千円
②教育費	77億2,731万9千円
③総務費	55億8,374万7千円
④土木費	43億 483万2千円
⑤衛生費	40億8,954万8千円
⑥消防費	29億1,311万2千円
⑦公債費	29億 748万3千円
⑧農林水産業費	7億2,740万2千円
⑨商工費	6億7,346万8千円
⑩議会費	4億1,277万6千円
⑪災害復旧費	3億 125万円
⑫予備費	8,000万円

改選後初の 予算審査特別委員会を設置

委員会審査では、担当職員からの説明と質疑応答により、予算内容の詳細把握に努め、9つの各会計予算について、慎重に審査を行いました。

定例会の本会議において、中村孝治委員長から審査結果の報告をするともに、次の3点において要望いたしました。

◆第5次佐倉市総合計画に基づき展開される施策は、目指す将来都市像を実現するための手段であり、その成果を目的化してはならない。各施策の重要業績評価指標、いわゆるKPIは的確に捉え、さらには、達成度の検証、要因分析を

行い、将来都市像の実現に向け、着実にPDCAサイクルを実行していただきたい。

◆昨年の連続した台風、大雨の被害、さらには、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済状況の悪化が危惧されることである。中小企業や小規模事業者のみならず、後継者不足など問題を抱える農業についても、持続性という観点を踏まえた支援について検討していただきたい。

◆今後さらに高齢化の進展が見込まれるが、第5次佐倉市総合計画の重点目標の一つである健康寿命の延伸・生涯活躍の場の創出の実現に向け、積極的な高齢者福祉施策の強化、推進に努めていただきたい。



予算審査特別委員会での審査模様

予算審査特別委員会の委員は以下のとおり

- ◎中村 孝治 ○久野 妙子 宇田 実生子 齋藤 寛之
 - 石井 秀明 押木 孝和 岡野 敦 木崎 俊行
 - 高木 大輔 五十嵐 智美 平野 裕子
- (◎委員長 ○副委員長)

令和2年度各会計の予算額

※会計名の丸数字は議案番号

会計名	予算額	前年度比
①一般会計	514億6,800万円	(+5.7%)
②国民健康保険	177億 814万4千円	(-2.2%)
③公共用地取得事業	294万5千円	(-14.8%)
④農業集落排水事業	2,146万2千円	(-5.4%)
⑤介護保険	125億5,198万6千円	(+5.6%)
⑥災害共済事業	512万4千円	(-4.6%)
⑦後期高齢者医療	26億6,009万5千円	(+14.3%)
総合計	844億1,775万6千円	(+4.2%)

会計名	収益的収入	収益的支出
⑧水道事業会計	41億7,333万1千円	42億9,328万円
	資本的収入	資本的支出
	1億3,862万円	24億3,835万6千円

会計名	収益的収入	収益的支出
⑨下水道事業会計	40億1,029万3千円	37億3,959万7千円
	資本的収入	資本的支出
	3億3,315万8千円	11億1,045万7千円

市政に関する

一般質問

2月定例会では、3月2日から3月5日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（6月上旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム（6月上旬配信予定）からご覧いただけます。なお、一般質問の様子は、佐倉市議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。（ ）内は会派名。

高木大輔 (さくら会)※ ①市長の政治姿勢 ②産業経済の活性化 ③未来に向けたまちづくり	④安心して暮らし続けることができるまちづくり ⑤当面の課題
石井秀明 (自由民主さくら)※ ①令和2年度当初予算について ②新しい時代に向けた自治体運営(スマート自治体)について ③子どもたちもお年寄りも皆が未来に希望の持てるまちづくりについて ④インフラ整備について ⑤地域問題について	
久野妙子 (公明党)※ ①令和2年度予算(総括質疑) ②災害復興と防災・減災対策	③子育て・教育こそ希望 ④市民に寄り添った施策推進
五十嵐智美 (市民ネットワーク) ①市長の政治姿勢について ②2021年度から使用する中学校教科書の採択について	
木崎俊行 (日本共産党) ①安倍政権による消費税10%増税等施策への市長の政治姿勢 ②災害復興・復興施策は被災者の声作り上げてきた ③市や市長会等が国・県へ予算要望をする意義について	
宇田実生子 (市民オンブズマンひまわり会) ①経常的経費の削減 ②教育環境の整備の充実(トイレの洋式化) ③ごみ問題(有料指定ごみ袋とごみ収集制度の改善)	

個人質問

徳永由美子 (自由民主さくら) ①市長の政治姿勢について ②佐倉市の災害対応について	
齋藤寛之 (自由民主さくら) ①教職員の働き方改革について ②安心・安全な通学路について	③災害への備えについて
鍋田達子 (公明党) ①地域防災の推進と災害対策について ②生活に密着した環境施策について	③市民の安心安全について
押木孝和 (公明党) ①誰もが輝く社会の実現に向けて ②安全確保のまちづくりについて	③公園の有効活用について
玉城清剛 ①台風15号、19号、10月25日豪雨における復旧の進捗状況について ②地震、風水害対策について ③児童の安全通学について	
藤崎良次 (市民オンブズマンひまわり会) ①市長の政治姿勢(新年度予算、災害対策、佐倉市職員の給与、入札発注制度、戦没者追悼式) ②市民の生活環境(福祉環境整備、コンビニ証明書発行事業、停電対策) ③市政運営のソフト面ハード面について(農業政策、新佐倉図書館)	
岡野敦 (さくら会) ①市政におけるリスクマネジメントについて ②住んで良かったと思えるまちづくり施策について	
稲田敏昭 ①敬老会事業について ②安心・安全なまちづくりについて ③教職員の働き方改革について	④消費税増税による施策での課題について ⑤インシシ対策について
高橋とおみ ①防災対策について ②不法投棄対策について	
萩原陽子 (日本共産党) ①被爆75年目の平和施策 ②まちの活性化と佐倉図書館	③補聴器の普及について
斎藤明美 ①子育て支援について ②教育環境について	③福祉について
松島梢 (市民ネットワーク) ①児童虐待について ②いじめ防止について	③高齢者の支援について
川口絵末 (市民ネットワーク) ①災害対応について ②新佐倉図書館について	③校則など学校生活のきまりについて
敷根文裕 (さくら会) ①多様なモビリティ導入支援事業について ②印旛沼周辺や市内の森、公園の活用について ③市民の安心安全について(新型コロナウイルス、電話de詐欺、民間事業者との連携協定、通学路と自転車通行空間の整備) ④子育て支援施策の強化について ⑤市民サービスと助成金について	

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

代表質問



さくら会
高木大輔

市長の政治姿勢
令和2年度当初予算の概要について、市長が考えるまちづくりの方針や来年度初年度に当たる第5次佐倉市総合計画における将来都市像「笑顔輝き 佐倉咲く みんなで創ろう『健康・安心・未来都市』」が実現できる内容となっているのか伺う。

答 当初予算では、初めて500億円を超え、過去最大となった。特徴としては、前年度と比べ、歳入では国県支出金や市債等の増に対し、財政調整基金からの繰入金約11億8千万円減。歳出では、会計年度任用職

員制度による人件費や幼児教育・保育の無償化に伴う社会保障関係の扶助費が増加、義務的経費は約18億8千万円増。普通建設事業費は、教育施設や災害復旧関連の整備事業などの増加により、約14億9千万円増。主な事業は、集中豪雨による浸水被害に対応するため、河川関連施設改修事業などで、市民の皆さまの安全安心な暮らしを確保する。新規事業としては、65歳以上の方に安全運転装置の購入費用の一部を助成、公立保育園で使用済みおもむつの回収処分を始める。そして、昨年の大雨により崩壊したのり面や道路、橋梁等の復旧工事等の災害対応のほか、(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設の建築工事や東京オリンピック・パラ

リンピックに向けたスポーツ交流振興事業、定住人口増加と空き家の利活用を図る住生活基本計画推進事業等を計上。これらの取り組みを着実に進め将来都市像の実現を目指していきたい。

水道事業は赤字予算。今後の見通しについて伺う。
答 経費節減、保有資金の活用等により、水道事業を健全に維持できるよう適切に対応していく。

令和2年度予算編成について
西田市政初の予算編成であるが、昨年発生した自然災害からの復興も含めてその意気込みを伺う。
答 復興を最優先に据えた

上で、来年度からの第5次佐倉市総合計画の基本施策を推進するものとした。
予算の概要について、近年の傾向と比較した令和2年度予算の特徴を伺う。
答 令和2年度は初めて500億円を超える予算規模となった。歳入面では国県支出金及び市債が増加し、歳出面では災害復興等による土木費、教育費、民生費が増加している。

新しい時代に向けた自治体運営について
佐倉市におけるスマート自治体への取り組みについて伺う。
答 他自治体における適用事例の情報収集、並びに本年4月からの一部住民税業務におけるRPA試行運用の準備を進めている。今後、AIを活用した

業務の効率化が求められるが、市の考え方を伺う。
答 現状AIには学習不足等によるリスクがあるため、安定性を見極めて、スマート自治体推進の一助となり得る技術であるため、今後の動向を注視していく。

インフラ整備について
市長の公約にもある国道51号や佐倉IC付近の道路の4車線化について伺う。
答 一般国道51号整備促進期成同盟に参加すると共に、実現に向け、国や県へ積極的に要望活動を行っている。

地域問題について
寺崎陸橋付近の渋滞緩和策として山王地区から四街道市に向かう道路の整備が有効かと思われるが、市の考えを伺う。
答 同様の要望を四街道市に伝えているが、現時点での事業化は難しい。今後も同市の動向を注視していく。

令和2年度予算総括質疑
市税の電子収納について提案してきたがいかがか。
答 令和3年度からスマートフォン決済の導入を検討。
条例の改正を行った地域まちづくり事業の支援の見直しを伺う。
答 設立に関する要件を広げ、規模の小さい団体も助成対象とした。
制度改正による運用上の課題の改善を要望する。
災害復旧と防災・減災対策
公明党の山口代表は甚大な被害をもたらした佐倉



公明党
久野妙子

★各議員の録画映像へリンクしています。ぜひご利用ください！

市を視察し、同じ被害を二度と出さない改良復旧を約束した。国や県からの支援事業及び補助率等を伺う。

災害対策派遣隊が派遣され、被災箇所での復旧工法等技術的な助言をいただいた。補助率は事業費の3分の2及び2分の1を予定。

災害時における乳幼児支援物資として液体ミルクの備蓄は進むのか伺う。

今年度中に240ml入りの製品を72缶購入予定。

ペットの同行避難を希望する市民は多い。避難所に一定の配慮はできないか。

場所の確保が可能なかどうかを検討している。

狭い道路でも消火活動できるように軽自動車の消防車両を導入してはどうか。

消防団に諮っていく。

子育て・教育こそ希望

待機児童対策を伺う。

3歳未満児の受け入れのため、保育施設の新規整備や認定こども園への移行など受け皿を確保していく。

市民に寄り添った施策推進

住宅セーフティネットトとして見直し中の住生活基本計画での対策は。

要配慮者のため市営住宅の制度の検討や民間賃貸住宅の家賃補助などを検討。

難病指定の網膜色素変性症や夜盲症の方へ暗所視支援眼鏡M W10を日常生活用具として制度開始を要望。

導入に向け進めていく。



市民ネットワーク 五十嵐智美



日本共産党 木崎俊行



市民オンブズマン ひまわり会 宇田実生子



個人質問 自由民主さくら 徳永由美子

念されている中で、千葉県教育委員会への増員要望はなされているか伺う。

教育委員会を通過して、千葉県教育委員会へ増員の要望を行っている。引き続き教職員の基礎定数及び加配定数の増員を求めていく。

安心・安全な通学路

通学路を使った避難訓練を行うことは可能か伺う。

さまざま被害を想定していく上で必要な取り組みであり、保護者とあらかじめ協議することが重要。

防犯カメラが設置されていない学校への設置スケジュールを伺う。

今年の5月末までに全ての学校へ設置できるように現在準備を進めている。

災害への備え

通電火災対策として感震ブレーカーが有効であるが市の見解を伺う。

全家庭に設置しないと効果がないため、購入費等の助成を研究していく。



公明党 鍋田達子

防災ガイドブックについて

防災ガイドブックの活用促進のための工夫は。

自助の一環として自分の独自の防災対策を記入できる欄を設けたり「保存版」の文字を追加し強調する。また、AED設置場所の掲載なども検討する。

所信表明と市長公約

公約で意思決定の透明化をうたっている。市民との対話はどうか行ってきたか。

満遍なくいろいろな方の意見を聞いている。

定期的なタウンミーティング等を行い、市民意見を政策に生かす取り組みを。

案件が出たら考える。

国民健康保険について

来年度予算で赤字繰り入れの計上がある要因は。

被保険者が減り県への納付金減少と保険税の減収を見込んでいるため。

保険者努力制度で赤字繰り入れ早期解消がマイナス評価に。制度の趣旨になじまないと考え。どうか。

マイナス評価も妥当。

国保は加入者の所得が低く、保険料が他の医療保険より高い。負担が重い国保に国庫補助を全国市長会が求めている。市も国に対し声を上げるべき。

中学校教科書採択について

安房採択地区は協議会の議事録等をホームページで公開。印旛地区も公開を。

開示は印旛地区で確認。

中学校教科書採択を危惧している。他市では教育委員会協議の公開を実施。採択協議会の担当市として公開を真剣に議論すべき。

印旛9市町で協議する。

消費税10%増税が通院抑制

消費増税に合わせた診療報酬改定が全く足りず、市内の大病院も大損害。東邦佐倉病院とユーカリが丘駅間の無料送迎バスの4月廃止は医療費高騰と併せ診療抑制になり得る。市が廃止を知ったのが年頭とは驚き。地域公共交通会議で議題にならないのが不思議。

現法令上、民間バスの新設・廃止は会議を経由しない。無料送迎バスは会議で協議されたことはない。

安心なまちづくりをうたう、市長の考えを質す。

皆さんが困らないよう、事業者と直接話をしていく。学童保育指導員に變形労働時間制適用は許されるか

シフト外勤務はあり得ない。当該制度は残業代がない。適用された指導員の苦言は当然。損害回復を。

災害等でシフト外勤務は当然発生。事業者へ周知するが法令違反ではない。

災害支援策に被災者の声を

台風、豪雨での避難世帯に市営住宅家賃の無料を求めてきたが対応の変化は。

他自治体の状況を勘案して免除に。既納分は返還。

避難所へ小さな充実も求む

アルファ米を1食から提供できるように改善を。

従前の備蓄と同様。

経常的経費の削減

市職員平均給与月額県内第3位の理由は、時間外勤務手当の支給額にある。年間5億円にもなる市職員の時間外勤務手当削減の実現のため、働き方改革推進チーム等の設置を求める。

第6次行政改革大綱策定中。現時点で組織横断的なチーム設置の予定はない。

小中学校トイレの洋式化

現在の洋式化率は約40%。印西市では2年間で小中学校約750のトイレの洋式化を約9億2千万円で見直しを求めたい。

佐倉市は令和7年目標。1265のトイレに約32億円。早期実現と工事費の見直しを求めたい。

関係課と協議を重ね、国庫支出金や市債を活用しながら順次事業を進める。

佐倉市指定有料ごみ袋

ごみ袋の売上合計額を一袋128円で試算。税込み約1億5千万円。製造業者は他市、他県。ごみ袋の種類も他市に比較し多い。

市の支出はないが、市民は支出があり、負担が大きい。

多くの自治体でも採用しており、佐倉市は価格に有料化の名目によるごみ処理費用上乗せはない。ごみの量に比例して自己負担は増えるのでごみ減量化に努めていただくことが肝要。

市長の政治姿勢について

財政調整基金の取崩しによる補正財源への影響。

補正予算は必要性を精査、検証し、特定財源の活用、執行残の速やかな減額で財源を確保していく。

人口ビジョンの改定は、これまでの実績を踏まえ、目標人口をどう設定したか。

2040年に約15万4000人、2060年に約12万8000人を維持することに變更したい。

ゼロから2歳児の待機児童解消のための小規模育を増やし、他の施設利用に転換しやすい保育環境を整えていく時期ではないか。

小規模保育事業所も含め既存施設の活用により待機児童解消に努めていく。

佐倉市の災害対応について

CO2削減と災害時の非常用電源として電気自動車の公用車導入をすべき。

第2次佐倉市地球温暖化対策実行計画の重点取り組みで公用車の次世代自動車導入を掲げており、電気自動車等の導入も検討する。

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

自由民主さくら

キッズゾーン設置について

問 保育園児等が行う散歩などの園外活動の安全確保のため、キッズゾーン設置など安全対策について伺う。

答 今年度、市内全ての保育施設で緊急安全点検を実施した。この結果、車止め

の設置や横断歩道の修繕等を順次進めている。また各保育施設への交通安全指導にも努めている。今後さらなる対策が必要となった際にはキッズゾーンの設置も含め関係機関と検討する。

問 使い切りプラスチック製品の排出抑制について

答 今後の取り組みを伺う。

問 令和2年7月からのレジ袋の有料化義務化やごみの分別と減量化・適正処理等の重要性を周知啓発する

答 深刻化している8050問題。相談しやすい環境づくりが大切と考える。市の支援体制について伺う。

問 今後関係部署や外部の関係機関と連携を図り、全庁的に対応していく。

安全確保のまちづくりについて

問 道路陥没対策としての路面下空洞化調査は、単なる道路の維持管理ではなく、防災・減災の視点で実施する必要が有ると考える。市

の今後の計画を伺う。

答 実施している自治体の考えを取り入れるなどの検討をしていく。

公園の有効活用について



玉城清剛
市民オンブズマン

問 佐倉市には現在290カ所の公園施設がある。遊ぶ・憩い・運動・健康・防災等多角的な観点から公園利用の在り方を伺う。

答 民間団体や企業などから新たな公園利用の在り方について意見を伺うなど、公園の利活用に関する検討を進めていく。

災害対策について

問 昨年の災害で発行した罹災証明書は何件か伺う。

答 2月時点で1528件。被害の大きさを実感。

問 明神橋付近の道路の復旧状況を伺う。

答 準備を進めている。令和3年度内の完了予定。

問 農業関連について伺う。

答 約40カ所ある被災箇所

の早期復旧に注力している。

問 防災地図に洪水、内水ハザードマップを集約、揺れやすさ、液状化危険度予測マップを集約できないか。

答 より見やすくなるよう検討する。

問 住宅の耐震診断、補強

工事は地震対策の最重要課題。市の取り組みを伺う。

答 相談会等で周知を図る。大火事防止のため火災

マップをぜひ作成願いたい。

答 消防組合と協議する。

問 児童の安全な通学について

答 勝田台4号踏切付近に待望の横断歩道が完成。歩行者通路の継続交渉を願う。

歩行者通路確保の可能性について改めて確認する。

問 災害対策の市負担約10億円

答 昨秋の災害対策予算は、合計約26億円。市債を含む市負担は約10億円。

入札差金は11億8千万円、災害負担を上回る

問 新年度の入札差金は、

答 予算上、入札差金は見込んでいない。

問 今年度の入札差金は、

答 2月20日までで予定価格77億円、落札価格は65億円、差金は約11億8千万円。

入札全体での落札者の「くじ引き決定数」は、

答 今年度は全体368件、くじ引き決定は合計79件、発生率は21%。

問 2割以上がくじ引きで、

答 ひずんだ入札制度だ。

戦没者追悼式、土曜開催で参加者増

問 今年度の入場者数は、

答 11月30日の参列者は305名で前年度比40名増加。

問 今後の対処は、

答 参列者の減少傾向の中、土曜日等の開催、記帳者への案内状送付などを予定。また、開催趣旨等を子ども

たちに紹介するのは必要。

問 市政リスクマネジメント

答 佐倉市のリスクマネジメントについて伺う。

問 今後導入される内部統制によるリスクマネジメントについて研究する。

問 時代の変化に対応する内部統制をぜひお願いしたい。

住んで良かったと思えるまちづくり施策について

問 各施設間の交通アクセス施策を伺う。

答 印旛沼周辺の施設を結んだ交通施策を関係部署と連携して検討する。

問 小出義雄記念陸上競技場、長嶋茂雄記念岩名球場を活用した佐倉らしい取り組み施策を伺う。

答 大型イベントの誘致等、両氏と佐倉市のかかわり等を大いにPRしていく。

問 NPO法人への対応について伺う。

答 市民公益活動サポートセンターにおいて、サポートに努めている。

問 認定NPO法人への移行支援もぜひお願いしたい。

京成佐倉駅北口のエレベーター設置について

問 京成電鉄との協議の進捗状況を伺う。

答 昨年の11月に概算工事費の算出をお願いした。その後の協議は進んでいない。

問 幼保無償化で負担増に

答 今年度は全額国負担だが来年度以降どうなるのか。

問 令和2年度以降、国が

答 2分の1、県、市がそれぞれ4分の1を負担する。

問 給食費が保育料より高

答 額になった世帯への補助は、原則、8月までとする。

イノシシ対策を

問 イノシシの出没状況及び捕獲の現状を伺う。

答 通報件数は、平成30年度が38件、令和元年度は1月末時点で31件。捕獲頭数は平成30年度が2頭、令和元年度は1月末時点で14頭。

問 市民の安全を守るために、イノシシ捕獲従事者を確保する必要がある。必要経費の補助率を2分の1から10分の10にできないか。

答 被害の状況等を注視し、検討していく。

印南地区の避難所について

問 印南地区の住民の大半が想定する避難所は印南小学校だが、この地区の住民約5000人は、印南小学校からみれば比高差が約20mある高台に住んでいる。

高台側から印南小学校に行くには、狭く急な坂道を下る必要がある上、坂道の北側に急峻な崖を背負って

るため、崖崩れが発生する可能性も高くある。そこで、臨時避難所を江原台自治会館や青少年体育館等に設定できないか。また、高台側の避難所には、最低限の水、スマートフォン等の電源の確保が必要であると考えるが、執行部の考えを伺う。

答 一時避難場所として活用可能だが、臨時避難所の指定は倉庫や配備職員の確保等の課題があり現状困難。

問 佐倉市のマニュアルには「指定避難所以外への避難はしない」と書かれている。各避難所の位置づけとマニュアルの整備を求め

る。また、青少年体育館の耐震補強を求める。

被爆75年目の平和施策

問 第5次総合計画から核兵器廃絶が消えたのは平和施策の後退ではないか。

答 平和条例に基づく事業の実施や平和の尊さの啓発等をうたっており、核兵器廃絶の思いは内包している。

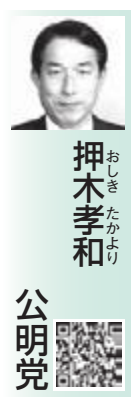
まちの活性化と佐倉図書館

問 利用者を現在の2倍以上見込み、駐車台数は20台も減少する。対策はあるか。

答 公共交通機関を利用するなど、協力をお願いする。

問 工事期間1年半はフリマも中止で商店が寂れ、活性化に逆行しないか。

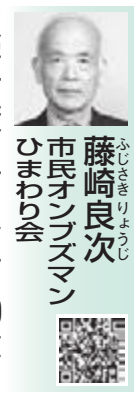
答 37億5000万円に膨らん



押木孝和
公明党



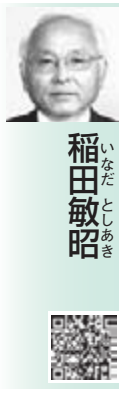
玉城清剛
市民オンブズマン



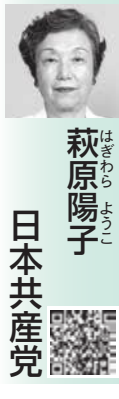
藤崎良次
市民オンブズマン



岡野敦
さくら会



稲田敏昭



萩原陽子
日本共産党

だ総事業費の内訳を伺う。

【答】 建設費のほか備品購入、用地購入、補償費、跡地整備、文化財調査等を見込む。

【問】 問題があっても実施か。

【答】 新町活性化の兆しをつくるためにぜひとも必要だ。補聴器の普及について



齋藤 明美



や認知症カフェなどで相談に応じている。

【問】 障害や疾患を周囲に知らせることができるとヘルプマークの配布状況を伺う。

【答】 障害福祉課窓口で配布。



松島 梢



浸水・避難所を示す標識を

【問】 浸水の危険や避難所の位置を示す標識の設置を。土地勘のない方や、住民も普段から目にしておくと、とっさの場合に逃げられる可能性が高まる。

【答】 有効な手段と考える。国・県の補助制度などの活用を視野に入れ、看板の設置に向けた研究をしていく。

【問】 校則について生徒は納得しているのか。アンケート調査や生徒総会の話し合い等、子ども意見を聞くことが必要ではないか。

【答】 生徒は理解して行動している。生徒の意見や要望は把握している。

【問】 生徒は校則を変えられないものではないか。LGBTへの配慮として女子生徒がストラップを選べる学校もあるが。

【答】 人権を第一に考え、円滑に学校生活が送れるような対応を予定している。

【問】 制服を各生徒が選べる状態が必要ではないか。

【答】 制服を各生徒が選べる状態が必要ではないか。

【問】 市民の安心安全について

【答】 新型コロナウィルス対策として関係法令や行動計画等の読み合わせや中核的

川口 絵未

な医療機関、保健所、医師会等との連絡体制を構築しているか伺う。

【答】 関係機関への情報提供と連携が速やかに行われるよう体制を整えていく。

【問】 透析医療施設等での新型コロナウイルスの診療の可否やパンデミックになつた際の対応、また市内経済に対する特別融資情報などをHP等で公開すべきでは。

【答】 HP等で周知し、情報が多まり次第、臨時の広報等の活用も検討する。

【問】 子育て支援の強化について

【答】 子育ては大学卒業、就職までお金がかかる。以前から民間と連携した奨学金など提案しているが進展がない。市の考えを伺う。

【答】 現在300を超えている自治体で奨学金返還支援などの事業が実施されており、佐倉でも官民連携型の若者支援事業の在り方について検討を進める。

主な議案の概要

市長から提出された議案のうち、議案第1号～第9号は令和2年度の一般会計、各特別会計、公営企業会計の当初予算、議案第10号～第15号、第31号は令和元年度の一般会計、各特別会計の補正予算、議案第16号～第29号は条例の制定、議案第26号、第28号は指定管理者の指定等、議案第29号は行政不服審査会委員の委嘱、議案第30号は固定資産評価審査委員会委員の選任、諮問第1号は人権擁護委員候補者の推薦に関する議案です。

【議案第10号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算】
歳入歳出それぞれ746万8千円を減額するもので、補正後の予算総額は506億675万4千円。
主な歳入は、国庫支出金、繰入金、市債等の減額及び市税、県支出金、寄附金等の増額。
主な歳出は、プレミアム付商品券事業、中学校施設改築・改修事業などのほか、各事業の執行に伴う計数整理による減額及び財政一般事務費、国民健康保険特別会計等への繰出経費、農業災害支援対策事業等の災害復旧に係る経費の増額。
継続費の補正は、北志津児童センター空調設備更新事業等2件を変更するもの。
繰越明許費の補正は、農業災害支援対策事業等10件を追加するもの。
債務負担行為の補正は、ちば電子調達システム利用料等3件を追加するもの。

【議案第21号 佐倉市立児童保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】
和田児童保育所の定員を15人増員し30人とするもの及び定員40人の第二井野児童保育所を新設するもの。

【議案第22号 佐倉草かえの丘の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】
草かえの丘を指定管理者による管理とするために必要な規定の整備及び団体が使用する設備について、市外居住者等が構成員の過半数の場合における料金の割増しについて規定するもの。

【議案第23号 佐倉市飯野台観光振興施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について】
飯野台観光振興施設を指定管理者による管理とするために必要な規定を整備するもの。

【議案第29号 指定管理者の指定について】
第一青菅児童保育所及び第三青菅児童保育所について令和2年4月1日から令和6年3月31日まで並びに第二井野児童保育所について令和2年5月1日から令和6年3月31日まで、いずれもワイエム総合サービス株式会社を指定管理者として指定するもの。

【議案第31号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算】
歳入歳出それぞれ6億7134万8千円を増額するもので補正後の予算総額は513億3889万2千円。
本補正予算は、令和2年度に実施予定であった弥富小学校体育館屋根落下防止対策事業及び小学校6校のトイレ改良事業について、国の令和元年度補正予算による補助金の内示を受けたことにより、予算について、所用の補正を行うもの。
歳入は、国庫支出金、繰入金、市債の増額。
歳出は、小学校施設改築・改修事業の増額。
繰越明許費の補正は、弥富小学校体育館屋根落下防止対策工事等2件を追加するもの。
地方債の補正は、弥富小学校体育館屋根落下防止対策事業債等2件を追加するもの。

用語解説

【RPA】

ロボティック・プロセス・オートメーションの略。
ロボットによる業務自動化の取り組みを表す言葉。
RPAは人間が行う業務の処理手順を登録しておくだけで、業務自動化を実現。多方面でホワイトカラーの業務自動化を拡大し、より広範な業務に対応できる技術として活用され始めている。

【答】 地域包括支援センター

【問】 介護は身体的、精神的

【答】 経済的負担となる。介護者

【問】 経済的負担となる。介護者

【問】 介護は身体的、精神的

たぐひ

議案第1号 令和2年度佐倉市一般会計予算、議案第2号 令和2年度佐倉市特別会計並びに公営企業会計に賛成

当初予算案については、近年、財政調整基金残高が目減りするなど、厳しい財政状況が続く中で、持続可能な財政運営を確保しつつ、市民の安全安心と必要な行政サービスの水準を維持できているかという点、さらに、昨年、佐倉市を襲った一連の災害からの復旧復興を図りつつ、令和2年度が初年度となる「第5次佐倉市総合計画前期基本計画」に掲げる将来都市像を着実に実現するための、中長期的な市の発展を視野に入れた予算となっているかという点、以上、2つの観点を重視し、審査を行った。

内容としては、交通空白地域対策を拡充するほか、高齢者福祉や子育て支援、健康増進の充実など、市民にとって必要な行政サービスの水準は確保されており、災害復旧関連経費のほか、今後の災害に対する備えとなる事業が計上されていることなど、市民が安全安心に暮らし続けることができよう配慮されているものと認められた。

また、本格的な少子高齢化が進む次期総合計画の期間内において、新たに重点目標が設定されているが、(仮称)佐倉図書館等新町

活性化複合施設整備事業や高齢者安全運転装置促進事業、さらには、保育園廃棄物処理事業など、生涯活躍の場の創出や子育て支援施策の充実、持続可能な財政運営などを念頭に予算措置がなされ、新たな将来都市像の実現を目指したものであると評価し、議案第1号に賛成する。

今後、本格的な人口減少、少子高齢化の進行という課題を解決していくためには、各種事業を効率的、効果的に推進する必要がある。重要業績評価指標、いわゆるKPIについては、各種事業の目的を的確に捉えた指標を設定した上、達成度の検証、要因分析を行い、課題解決の実現に向け、PDCAサイクルを確実に機能させていくことを期待する。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により各種イベントが中止又は延期されるなど、経済への影響が危惧されることであるが、国は、中小企業、小規模事業者等に対する支援策を打ち出している。

市においても、商工会議所など関係団体と連携し、支援に努めるとともに、昨年の連続した台風、大雨により甚大な被害を受けた農業についても、後継者不足など、さまざまな課題を抱えていることから、持続性という観点を踏まえた支援策の検討を要望する。

なお、各特別会計並びに

公営企業会計についても、適正な予算措置がなされていると判断し、議案第2号から第9号に賛成する。

公明党

議案第1号「令和2年度佐倉市一般会計予算」に賛成

審査にあたり①いまだかつてない人口減少・少子高齢化に向け、先を見越し人口構造の変化に対応した予算②昨年の台風や大雨被害から一刻も早く、市民の安全・安心確保策に配慮されているか③道路、橋梁等公共施設の災害復旧にかかる経費や公共インフラの長寿命化対策等図られているか、の観点で審査しました。

予算案では、昨年10月から実施された幼保無償化等子育て関連経費や、災害復旧・復興にかかる経費が増加したものの、国県支出金等特定財源の積極的活用が図られ、義務的経費を除く歳出予算の縮減等、持続可能な財政運営への取り組みは評価します。長期的視点から(仮称)佐倉図書館等新町活性化複合施設整備には、利便性の向上と地域活性化を期待します。

また令和2年度は、第5次佐倉市総合計画の初年度であり、今後到来する超高齢社会に向けて、健康寿命の延伸策や移動手段の確保策等の社会参加に向けた施策の推進、あらゆる市民の皆様が活躍できるようユニバーサル社会の実現を目指

した各種施策の充実・強化について望みます。

自由民主党

議案第1号 令和2年度当初予算について、以下を申し添え、賛成

経常的経費の削減には努めているが、今後の災害時の財政出動を見据え、財政調整基金の適正金額の上限である60億円を目指してほしい。

ペーパーレス化やICTの活用、多国籍者への窓口対応もしっかりと取り組んでほしい。

おじいちゃんおばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業に対し、地域提案型の事業となることを望む。また高齢者の見守り事業の充実とサポーターの養成に力を入れることを望む。

新型コロナウイルスが佐倉市の経済状況に与える影響を踏まえ、中小企業の支援と若者や女性の起業誘発に努められたい。

議案第10号 令和元年度佐倉市一般会計補正予算について、以下申し添え、賛成

農業災害支援対策事業として、農業従事者の声にこたえた佐倉市独自の支援策が計上されており、評価する。

議案第22号、第23号 佐倉草ぶえの丘、並びに佐倉市飯野台観光振興施設の条例の制定について

一体管理と回遊性に加え観光資源の基幹施設として長期的な展望に立ち、指定管理者による管理を望む。

市民ネットワーク

主な反対理由。議案1号

①佐倉図書館建設費12億円。周辺整備を含めた23年度までの総額は37億円にもなる。現計画の地下図書館案は火災や地震等の非常時に危険。多くの市民から要望がある市営住宅跡地の芝生広場は地上でワンフロアの図書館建設が可能。新町を含め一帯を城下町として回遊性を高め、みどり歴史のまちづくりを行うべき。

②マイナンバーカード交付事業1・1億円。年間発行5万枚の経費だが市の今年度2月までの発行は2620枚。過大な発行の狙いは健康保険や民間利用。情報漏えいや国家による国民監視等の危険性がありカード運用拡大の交付事業に反対。

③会計年度任用職員制度が4月から開始。低所得・低待遇を固定化し、不安定雇用を招く差別的な雇用制度。議案7号後期高齢者医療保険料の軽減措置が段階的に廃止。年金も引き下げられる中で負担増は生活を圧迫。

市民オンブズマンひまわり会

一般会計新年度予算514億円には意見を付けて賛成

昨秋の災害からの復旧・復興を最優先した予算編成、新型コロナウイルス感染拡大に備え市民生活を守ること

を求め、そして、経常収支比率改善のためさらなる行財政改革が必要である。新規事業①公立保育園紙

日本共産党

来年度予算案に反対

災害復旧を最優先とする内容は認められるが、多くの福祉施策等は半減・見送り。反して政権主導の補助金併せの予算には寛大。総額37億5千万円にも及ぶ佐倉図書館等新町活性化複合施設整備事業には市民意見の反映がなく「活性化」の指数・目標値すら示せず。駐車場半減・地下掘削2万㎡土砂搬出の地域へのリスク想定もない。低所得世帯等への消費税対策プレミアム商品券発行は4割の申請で2万円の商品券購入も困難な実態を示した。審議では保育園給食無償化等、暮らしを守る予算・施策を求めた。

おむつ処理事業②高齢者安全運転促進事業③公園遊具、樹木緊急点検事業④地域公共対策事業(飯重羽鳥ルート運行)⑤草ぶえの丘指定管理者へ移行等市民ニーズが反映されている点を評価。課題①会計年度任用職員制度の格差是正②くじ引き入札廃止で税の有効活用等

普及率約14%のマイナンバーカード発行は個人情報漏洩への不信感の証。給食費が保育料より高くなった世帯への補助の打ち切り。地下図書館の膨大な事業費総額約37億円、市営住宅地跡が災害時の拠点としても利用できる最適の場所。

議案第21号 佐倉市立学童保育所の設置及び管理に関する条例の改正について、和田学童保育所の定員倍増及び第二井野学童保育所の新設は、少子化対策及び現役世代の就業支援の根幹であり、佐倉市が子育て世代に魅力を感じさせる事業であり、大いに賛成する。

議案第22、23号に賛成

草ぶえの丘、印旛沼サンセットヒルズの管理運営に指定管理者制度導入については、民間企業と連携し施設の充実や多くの方に利用いただけるよう努めていた

いただきたい。印旛沼周辺地域活性化へと進めるためには道路整備も重要と考えます。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。



委員会報告

※議案は市長提出議案

総務常任委員会

《審査結果》

議案10	議案11	議案12	議案14	議案15	議案16
可決	可決	可決	可決	可決	可決
議案17	議案18	議案19	議案20	議案31	請願4
可決	可決	可決	可決	可決	不採択
請願5					
不採択					

開催日：令和2年3月9日 / 場所：第三委員会室

議案11件、請願2件について審査し、その結果は左表のとおりです。
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・新たに財政部を設置し、債権を一元管理するに当たっては、市民の個々の事情を勘案し、適切な対応を行えるよう、配慮していただきたい。
- ・通院を含め、日常生活に必要な移動手段については、市内全域で安定的かつ継続的に確保できるよう、高齢者等の外出支援や公共交通の利用促進の取り組みをさらに進めていただきたい。

〔委員〕◎平野裕子、○中村孝治、石井秀明、五十嵐智美、萩原陽子、藤崎良次、岡村芳樹



委員長報告の様子

文教福祉常任委員会

《審査結果》

議案10	議案13	議案21	議案26	議案31
可決	可決	可決	可決	可決

開催日：令和2年3月10日 / 場所：第三委員会室

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。

〔委員〕◎久野妙子、○櫻井道明、松島 梢、齋藤寛之、岡野 敦、木崎俊行、爲田 浩



委員長報告の様子

経済環境常任委員会

《審査結果》

議案10	議案22	議案23	陳情2
可決	可決	可決	採択

開催日：令和2年3月11日 / 場所：第三委員会室

議案3件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・草ぶえの丘及び印旛沼サンセットヒルズの管理運営に関する指定管理者制度導入については、ただ維持するだけという視点ではなく、民間資金の活用による施設の充実やさらなる集客に努めるとともに、当該施設が、印旛沼周辺地域活性化の核となるという視点を持ち、今後の準備を進めていただきたい。また、当該施設の利用拡大の観点から、教育委員会ともさらに連携し、校外学習等で積極的に利用してもらうための検討や民間企業との連携も視野に入れていただきたい。

〔委員〕◎敷根文裕、○徳永由美子、川口絵未、鍋田達子、密本成章、玉城清剛、斎藤明美



委員長報告の様子

建設常任委員会

《審査結果》

議案10	議案24	議案25	議案27	議案28
可決	可決	可決	可決	可決

開催日：令和2年3月12日 / 場所：第三委員会室

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。
なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・危険ブロック塀等転換助成事業については、利用しやすい補助制度への見直しを検討の上、さらなる周知を図り、通学路等の安全対策につなげていただきたい。

〔委員〕◎高木大輔、○山本英司、高橋とみお、宇田実生子、押木孝和、稲田敏昭、石渡康郎



委員長報告の様子

佐倉市ホームページもご覧ください

佐倉市議会
Assembley of Sakura City

◇佐倉市ホームページ
<http://www.city.sakura.lg.jp>

●会議録が検索
できます！

平成元年以降の本会議の会議録のほか、平成27年5月以降の常任委員会や議会運営委員会など委員会等の会議録も検索することができます。

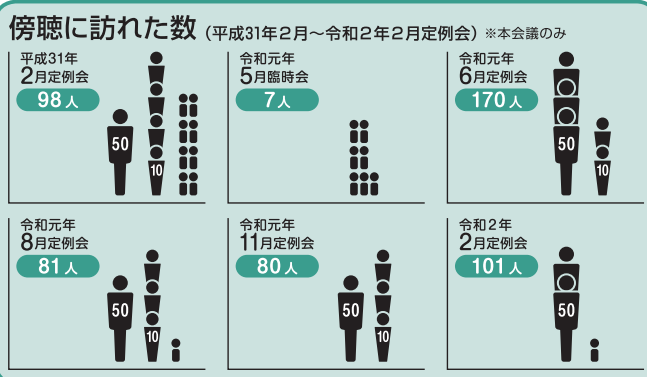
- インターネット中継を見ることができます！
本会議の様を、開催時間中にライブ中継で見ることができるほか、開催日のおおむね1週間後から、録画中継を見ることができます。
- 政務活動費
政務活動費の支出の根拠に加え、取扱基準や経費の範囲を説明。平成29年度分からは収支報告書とあわせて領収書を公開しています。

議員研修会を開催

1月14日、講師に(株)地方議会総合研究所代表取締役の廣瀬和彦(ひろせ・かずひこ)氏をお招きして、議員研修を行いました。
研修では、「市議会議員としての危機管理」として、発言や効果的な一般質問を行うに当たっての留意点、政務活動費の取り扱いなどについて学びました。



研修の様子



マチイロ

スマートフォンアプリ
で佐倉市
議会だより
をご覧ください
ます！

6月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 6月2日(火)
- ◆招集日 6月8日(月) 午後1時から
- ◆一般質問 6月15日(月)～18日(木)
- ◆常任委員会 6月22日(月)～25日(木)
- ◆最終日 6月29日(月) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。議会事務局 ☎043-484-6254

□インターネット中継：本会議(招集日・一般質問・最終日)の様を開催時間中にライブ中継するほか、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信。

□CATV議会放映：本会議の様を開催日の翌日午後5時30分から放送。
【地上デジタル10チャンネル、デジタルCATV301チャンネル】

2月議会では、感染症対策として、傍聴される方にマスク着用、手指消毒をお願いしました。本会議の様子はインターネット及びケーブルテレビで中継放映していますので、ご利用ください。

私は、持続可能なまちづくり、住んで良かったと思えるまちづくりという視点を踏まえ、政策提案を通して二元代表制である議会の一員として行動しました。

6月定例会から電子採決システムが導入されます。「賛成多数により可決されました」と議長が発言しても、あの議員は賛成か反対か、その場では分からなく、積然としなかったのではないのでしょうか。それが改善されます。各議員の手に賛成、反対、退席のボタンが用意され、賛否がスクリーンで一目瞭然に。ぜひ、傍聴席からご覧ください。

(広報公聴委員 岡野 敦)

議会百景